

2022年県議会第1回定例会の 議案(当初予算関連)についての各会派の態度



議 案	○賛成・採択 ×反対・不採択 ▲継続	共 産	自 民	県民 連合	公 明	無所属		議決結果	
						A	B		
議 案	令和4年度鹿児島県一般会計予算	×	○	○	○	○	○	原案可決	
	令和4年度国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○		
	鹿児島県職員の期末手当の支給に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	×	○	○	○	○	○		
	鹿児島県手数料徴収条例の一部を改正する条例制定の件	×	○	○	○	○	○		
	鹿児島県税条例及び鹿児島県みんなの森づくり県民税条例の一部を改正する条例制定の件	×	○	○	○	○	○		
	鹿児島県工業技術センター手数料及び使用料徴収条例の一部を改正する条例制定の件	×	○	○	○	○	○		
	上記以外の人事同意議案及び議案議1件を含む23件の議案	全会一致で原案可決・同意							
主 な 請 願 ・ 陳 情 ・ 意 見 書	屋久島空港延伸に伴う施設整備への地杉材の活用について(陳情)	全会一致で採択							
	県全体の特別支援学校の教育環境の改善に向けた見直し等について(1項)								
	川内原発20年延長運転問題に関する特別委員会の設置を求める陳情書	○	×	○	×	○	×	不採択	
	子どもたちのゆたかな学びの実現のための教員確保と2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	○	×	○	×	○	▲		
	伊佐市への特別支援学校設置及び県全体の特別支援学校の教育環境の改善に向けた見直し等についての陳情書	○	▲	○	▲	○	○	継続	
	離島住民の航路運賃低廉化に関する意見書(総合政策建設委員会)	全会一致で採択							
	観光関連産業の事業継続に向けた支援を求める意見書(文教観光委員会)								

無料 生活相談を行っています。

毎週木曜日 午後2時～4時

電話099-296-9507
たいら行雄事務所
鹿児島市坂之上3-1-3

たいら行雄 県議会 ニュース



3月議会報告

●発行／日本共産党鹿児島県議団 2022年春号
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL/FAX 099-286-3977
E-mail: kengidan@jcp-kagoshima.com



ホームページ



Facebook

3月議会では、令和3年度3月補正予算、並びに、令和4年度当初予算関連についての議案が提案され、全ての議案が可決・成立しました。加えて、継続を含む10件の請願・陳情について各委員会での審査が行なわれ、採択2件、不採択2件、継続4件という結果でした。

日本共産党県議団は、提案された議案のうち7件(3月補正含む)、および請願・陳情の委員会審査結果の1件について反対し、「反対討論」を行ないました。

その中で、「令和4年度鹿児島県一般会計予算」についての討論内容をご報告します。

**令和4年度当初予算(約8,700億円)が賛成多数で成立。
共産党県議団は、いくつかの問題点を指摘し反対しました!**



一般質問に立つたいら行雄県議

○「命と健康に関わる政策への対応」は重要な判断基準のひとつ

本議会にて提案された「令和4年度当初予算案」は、3年目を迎えるコロナ禍の下において、総額8,699億300万円(対前年度比+3%)の予算が確保され、この巨額の予算を活用し、塩田知事が予算編成のコンセプトとしている「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を実現していくことが期待される。その視点に立って最も重要な命と健康に関連する事業を中心に見てみると、「生理の貧困」支援促進事業や「医療的ケア児等総合支援事業」、「ヤングケアラー実態調査等事業」や「若年がん患者等支援事業」などの新規事業に予算計上が行なわれたことは評価できるが、その一方で、「脳卒中対策推進事業」や「がん診療施設設備整備事業」、「ピロリ菌検査事業」などが何の説明もないままに、一方的に事業廃止されている点について納得できるものではない。

○今こそ「子ども医療費窓口無料」の対象範囲の拡大を!

医療費助成制度について、「重度心身障害者医療費助成制度」について、自動償還払い方式することは一定の改善であり評価できるが、多くの保護者から要望の強い「子ども医療費給付事業」の対象範囲拡大については現状のままであり納得できるものではない。

この件については、去る3月15日に県医師会などからも「中学校まで窓口無料」の要望が出されていることから、早急な改善が必要と考える。さらに、コロナ禍の下において、保健所をはじめとする医療機関の拡充が求められているにもかかわらず、「地域医療介護確保事業」や「病床転換助成事業」及び「保健医療計画策定事業」など、医療機関の病床削減や病院等の統廃合につながる事業も含まれており、これらについては、知事のコンセプトにも逆行することから問題であると考える。

○新たな県総合体育馆関連の予算措置は「時期尚早」であり問題!

本県の厳しい財政状況の下、「志布志港国際バルク戦略港湾事業」や「錦江湾横断交通ネットワーク調査検討事業」などの大型公共事業に加え、新たに「スポーツ・コンベンションセンター整備検討事業」の予算が計上されているが、この事業については、現時点において、県民合意が十分に得られているとは思えないドルフィンポート跡地への県総合体育馆の建設計画を白紙委任するようなものであり「時期尚早」と言わざるを得ない。

したがって、これらの問題を含んでいる「令和4年度当初予算案」については「反対」を表明するものである。

(質問・答弁はホームページで掲載しています)

1

県民の命とくらしに直接関わる重大な問題 本県の安全保障に係る問題



いま本県においては、馬毛島への軍事基地建設、鹿屋への米軍無人機配備など、県民の命とくらしに直接関わる重大な問題が浮上しています。そして今、突然ロシアがウクライナに侵攻していますが、これは国際法及び国連憲章に違反するものであり、厳しく糾弾するとともに、ロシア軍は直ちに撤退するよう求めるものです。



さて、今回のロシアの侵略行為によって、戦争が勃発したら、軍事基地やその施設が真っ先に標的となるとともに、周辺に住む住民にもその被害が及んでしまうことが明らかとなりました。

本県においては、奄美本島のミサイル基地が配備され、今後は、馬毛島への軍事基地建設、

鹿屋への無人機配備などが計画されていますが、地元住民からは強い反対の声が上がっています。

このことから、県民の命と暮らしを守ることを最優先に考え、馬毛島への軍事基地建設及び鹿屋への米軍無人機配備について、受け入れない

よう塩田知事に求めましたが、明確な回答は得られませんでした。さらに、米軍機による奄美での低空飛行や鹿児島市上空での頻繁な飛行など、危険な状況にあることから、この問題についても知事の考え方を質しました。

この件については、本県の将来を担う子どもたちや孫たちの命とくらしに関わる重大な問題であることから、引き続き重視して取組んでまいります。



馬毛島空撮



鹿児島市上空を飛来する
KC130空中給油機
とみられる米軍機

3 できるだけ早い安全性を。厳密な調査と検証を 危険な除草剤の埋設問題

猛毒のダイオキシンを含む化学物質で、ベトナム戦争の際に米軍が散布して多くの被害を生んだ枯れ葉剤の原料「2.4.5-T」の除草剤がコンクリートに固められ、約50年前に全国46箇所に合計約26トンが埋設された問題が明らかとなっています。

本県では、県内5市町6ヶ所に、全国で最も多い約6トンが埋設され、中には林野庁の基準通りに処理されていないものもあるとのことです。

この問題については、平成10年の県議会でも取り上げられ、その際の担当部局の答弁では、「所管の営林署の定期検査により極めて安定した状態に

ある」とのことでした。ところが、これまで「埋めたままの方が安全」としていた林野庁は、近年多発する大雨による土砂崩れや、埋設に使用したコンクリートの寿命などにより、ダイオキシン流出の危険性が問題となってきたことから、最近になって突然方針転換し、掘り起こした上で掘削処理を行う方向で検討に入ったとのことです。

この問題については、県民の健康被害に関わる重大な問題であることから、今後も引き続き県に対して、できるだけ早く安全性を確保するために、厳密な調査と検証を進めるよう求めてまいります。

2

制度設計の見直しと県独自の改善策を 国のコロナ対策「待遇改善事業」

本県における新型コロナウイルス感染症については、今月6日に国の「まん延防止等重点措置」が終了したものの、現在も一日300名を超える新規感染者が報告されるなど、予断を許さない状況が続いている。

こうした中、これまで県民の命を守るために懸命に頑張って来られた医療・介護・保育などのケア労働者に対して、賃上げに相当する国の「待遇改善事業」が行われることとなり、低賃金に晒されてきたケア労働者にとっては喜ばしいことです。

しかし、今回の新たな「待遇改善事業」の対象範囲について、例えば年に200件以上の救急車の受け入れを行なっている病院やコロナ患者対応病院などの看護師に限定されていること、また認可外保育所や病院職員のための院内保育所などの保育士は、原則として対象外とされていることなど、対象者が限定的となっており、現場

から不満の声が寄せられています。

このことについては、現場で働く労働者のモチベーションにも関わる問題でもあることから、国に対して制度設計の見直しを求めるとともに、県独自の改善策の検討を求めましたが、具体的な答弁は得られませんでした。

これらの問題については、県民の命と健康を守る観点から引き続き、国や県に対して改善を求めてまいります。



除草剤（2,4,5-T系）が埋設されている川辺町の現場（2022年2月19日撮影）